

平成 25 年度に実施した選択的評価事項に係る 評価に関する検証結果報告書（高等専門学校）

平成 27 年 3 月

独立行政法人 大学評価・学位授与機構

はじめに

大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）では、選択的評価事項に係る評価を開放的で進化する評価とするために、評価の経験や評価を受けた機関等の意見を踏まえつつ、常に評価システムの改善を図ることとしている。

このため、選択的評価事項に係る評価において、毎年度、評価の終了後、評価対象校及び機構側の評価担当者（以下「評価担当者」という。）へのアンケート調査を実施し、その結果等をもとに評価の有効性、適切性について検証を行うことにより、評価内容・方法等の改善・充実すべき点を把握し、次年度以降に実施する選択的評価事項に係る評価に反映させている。

平成 25 年度実施の選択的評価事項に係る評価においても、引き続きアンケートを実施して検証を行うこととし、より透明性の高い評価とするため、ここに平成 25 年度実施の選択的評価事項に係る評価（14 高等専門学校）に関する調査及び検証結果を取りまとめた。

目 次

はじめに

I 機構が実施した選択的評価事項に係る評価の概要	1
--------------------------	---

II 平成 25 年度実施の選択的評価事項に係る評価に関する検証

1. 検証の実施方法	5
------------	---

2. 項目別の検証

(1) 選択的評価事項に係る評価を受けた理由について	6
(2) 選択的評価事項及び観点について	7
(3) 自己評価書について	8
(4) 書面調査・訪問調査について	9
(5) 評価結果（評価報告書）について	11
(6) 評価についての全般的な意見・感想について	12

参考資料

1 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （選択式回答）【対象校】	15
2 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （選択式回答）【評価担当者】	16
3 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （自由記述）【対象校】	17
4 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （自由記述）【評価担当者】	19
5 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート 【対象校】（高等専門学校用）	20
6 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート 【評価担当者】（高等専門学校用）	23

I 機構が実施した選択的評価事項に係る評価の概要

平成 25 年度に実施した選択的評価事項に係る評価の検証をまとめるに当たって、まず機構が実施した高等専門学校を選択的評価事項に係る評価の概要について触れておく。

機構の実施する認証評価は、高等専門学校の正規課程における教育活動を中心として高等専門学校の教育研究活動等の総合的な状況进行评估するものであるが、高等専門学校にとって研究活動は、教育活動とともに主要な活動の一つであり、さらに高等専門学校は、社会の一員として、地域社会、産業界と連携・交流を図るなど、教育、研究の両面にわたって知的資産を社会に還元することが求められており、実際にそのような活動が広く行われている。

機構は、高等専門学校評価基準とは異なる側面から高等専門学校の活動を評価するために、「研究活動の状況」（選択的評価事項 A）と「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（選択的評価事項 B）の二つの選択的評価事項を設定し、高等専門学校の希望に基づいて、これらの事項に関わる活動等について評価を行っている。

選択的評価事項は、平成 17 年度に選択的評価基準として「研究活動の状況」及び「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」の評価を開始した。なお、平成 18 年度実施分より選択的評価基準から選択的評価事項へ名称を改めている。

平成 25 年度実施の選択的評価事項に係る評価は、二つの評価を開始してから 9 年目の実施に当たる。なお、平成 23 年度から、機構が実施する評価の第 2 サイクル期間に移行した。

1. 目的

選択的評価事項に係る評価は、各高等専門学校の個性の伸長に資するよう、以下のことを目的として行った。

- (1) 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
- (2) 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

2. 実施体制

評価を実施するに当たっては、国・公・私立高等専門学校の関係者及び社会、経済、文化等各方面の有識者からなる高等専門学校機関別認証評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、その下に、具体的な評価を実施するため、対象高等専門学校（以下「対象校」という。）の状況に応じた評価部会を編成し、評価を実施した。

評価部会には、各高等専門学校の教育分野やその状況が多様であること等を勘案し、

対象校の学科等の状況に応じた各分野の専門家及び有識者を評価担当者として配置した。

3. 方法・プロセス

方法及びプロセスの概要は、下記のとおりである。

(1) 高等専門学校における自己評価

各高等専門学校は、『自己評価実施要項』に従って、自己評価を実施し、自己評価書を作成した。

(2) 機構における評価

機構における評価は、書面調査及び訪問調査により実施した。

- ① 書面調査は、『評価実施手引書』に基づき、対象校から提出された自己評価書（高等専門学校の自己評価で根拠として提出された資料・データを含む。）及び機構が独自に調査・収集した資料・データ等に基づいて、対象校の状況を調査・分析した。
- ② 訪問調査は、『訪問調査実施要項』に基づき、書面調査では確認できない事項等を中心に調査を実施した。
- ③ 選択的評価事項ごとに、自己評価の状況を踏まえ、その評価事項に関わる各高等専門学校が有する目的の達成状況等について評価を実施した。
なお、選択的評価事項は、いくつかの内容に分けて規定されており、これらを踏まえ基本的な観点が設定されている。目的の達成状況等については、その個々の内容ごとに行うのではなく、基本的な観点的分析状況を総合した上で、選択的評価事項ごとに行った。
- ④ 選択的評価事項ごとに、取組が優れていると判断される場合や、改善の必要が認められる場合等には、その旨の指摘も行った。
- ⑤ 評価結果については、「目的の達成状況が非常に優れている」、「目的の達成状況が良好である」、「目的の達成状況がおおむね良好である」、「目的の達成状況が不十分である」の4段階で記述し、公表した。

4. スケジュール

- (1) 平成24年6月に、国・公・私立高等専門学校の関係者に対し、評価の仕組み、方法等について説明会を実施するとともに、当該高等専門学校の自己評価担当者等に対し、自己評価書の記載等について研修会を実施した。
- (2) 平成24年7月から9月にかけて申請を受け付け、最終的に以下の14高等専門学校の評価を実施することとなった。

○ 国立高等専門学校（14高等専門学校）

鶴岡工業高等専門学校（A・B）、木更津工業高等専門学校（A・B）、
東京工業高等専門学校（A・B）、岐阜工業高等専門学校（A・B）、
鳥羽商船高等専門学校（A・B）、舞鶴工業高等専門学校（A・B）、
奈良工業高等専門学校（A・B）、松江工業高等専門学校（A・B）、
呉工業高等専門学校（A・B）、宇部工業高等専門学校（A・B）、
弓削商船高等専門学校（A・B）、久留米工業高等専門学校（A・B）、
北九州工業高等専門学校（A・B）、佐世保工業高等専門学校（A・B）

（3）平成 25 年 6 月に、評価担当者が共通理解の下で公正、適切かつ円滑にその職務が遂行できるよう、評価の目的、内容及び方法等について評価担当者に対する研修を実施した。

（4）平成 25 年 6 月末に、対象校から自己評価書の提出を受けた。

（5）対象校からの自己評価書提出後の評価作業スケジュールは次のとおりであった。

25 年 7 月	書面調査の実施
8 月	評価部会の開催（書面調査による分析結果の整理、訪問調査での確認事項及び訪問調査での役割分担の決定）
9～11 月	訪問調査の実施（書面調査では確認できなかった事項等を中心に対象校の状況を調査）
12 月	評価部会の開催（評価結果（原案）の作成）

（6）これらの調査結果を踏まえ、平成 26 年 1 月に評価委員会で評価結果（案）を決定した。

（7）評価結果（案）に対する意見の申立ての機会を設け、平成 26 年 3 月の評価委員会での審議を経て最終的な評価結果を確定した。

5. 評価結果

平成 25 年度に選択的評価事項に係る評価を実施した高等専門学校の評価結果は、次のとおりとなった。

○ 選択的評価事項 A

- ・ 目的の達成状況が良好である：13 高等専門学校
- ・ 目的の達成状況がおおむね良好である：1 高等専門学校

○ 選択的評価事項B

- ・ 目的の達成状況が非常に優れている：2 高等専門学校
- ・ 目的の達成状況が良好である：12 高等専門学校

機構はこの評価結果を平成 26 年 3 月 26 日付で、各対象機関及び設置者へ通知するとともに、機構のウェブサイトにより公表し、かつ文部科学大臣へ報告した。

※ 選択的評価事項は機構ウェブサイトを参照のこと。

http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/kousen/index.html

Ⅱ 平成 25 年度実施の選択的評価事項に係る評価に関する検証

1. 検証の実施方法

(1) アンケート調査の実施

平成 25 年度実施の選択的評価事項に係る評価の対象校及び評価担当者に対し、記名選択式回答（５段階・２段階）及び自由記述からなるアンケート調査を実施した。

(2) アンケート調査結果等の検証

対象校及び評価担当者に対するアンケート調査内容から、主要な項目を整理・分類し、項目別に分析を行った。その上で、評価実施過程において機構が把握した問題点等も踏まえ、評価の有効性、適切性を検証した。

分析項目は以下のとおりである。

- (1) 選択的評価事項に係る評価を受けた理由について
- (2) 選択的評価事項及び観点について
- (3) 自己評価書について
- (4) 書面調査・訪問調査について
- (5) 評価結果（評価報告書）について
- (6) 評価についての全般的な意見・感想について

なお、報告書の本文には、アンケート調査結果のうち主なものを掲載しており、参考資料にはすべての調査結果を掲載している。

※アンケート調査に係る補足事項

1. アンケート用紙配付日程

	平成 25 年度
対象校	平成 26 年 3 月 26 日
評価担当者	平成 25 年 12 月 25 日

2. 平成 25 年度アンケートの回収状況

	回答数	回収率
対象校	14 校中 14 校	100%
評価担当者	18 名中 16 名	89%

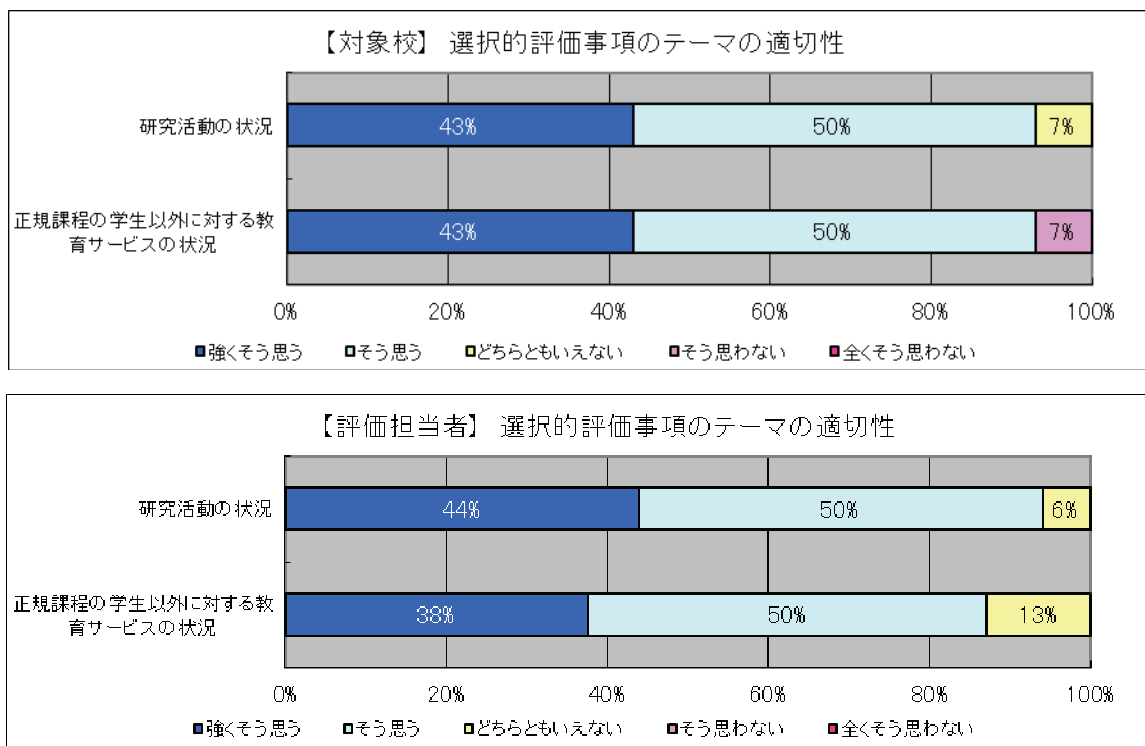
2. 項目別の検証

(1) 選択的評価事項に係る評価を受けた理由について

今回、対象校が選択的評価事項に係る評価を受けた理由として、客観的な評価により現状を把握し、改善や発展に活かすため、という回答が寄せられているほか、教育研究活動状況を適切に評価・公表し、世間に対して説明責任を果たすため等、「改善の促進」「社会への理解と支持」という評価の目的に関連する回答が寄せられた。

（２）選択的評価事項及び観点について

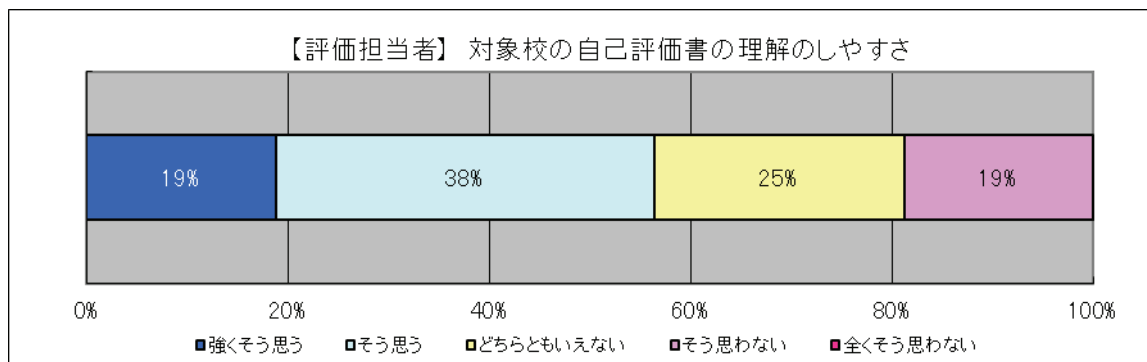
設定された選択的評価事項のテーマ「研究活動の状況」「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」及び対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという評価方法はそれぞれ適切なものと考えられる。



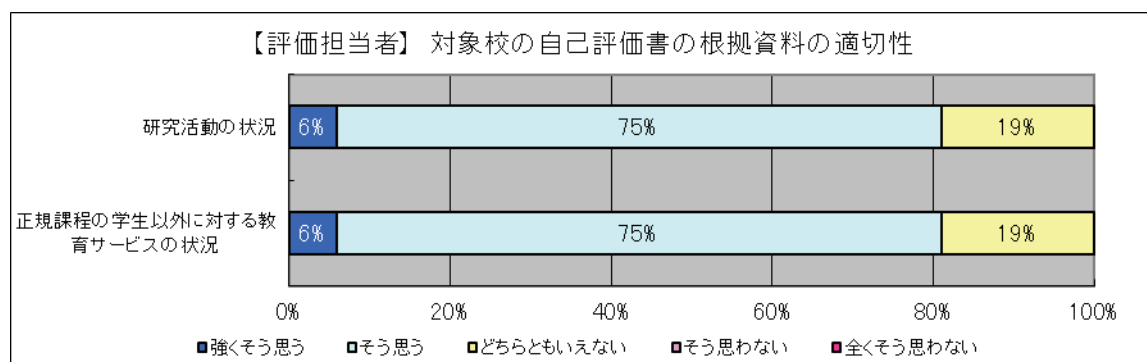
※ 回答率については、小数点以下四捨五入のため合計が100%にならないものもある

(3) 自己評価書について

自己評価書の理解しやすさについて、評価担当者からおおむね肯定的に評価されている。

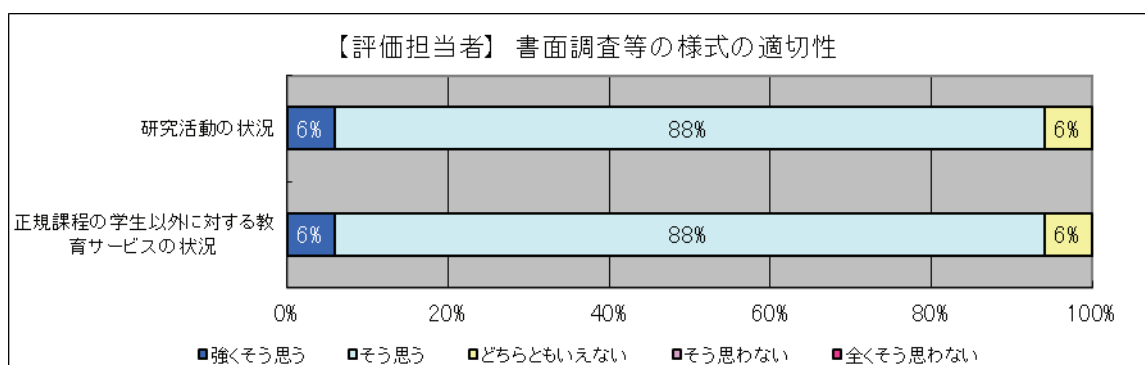
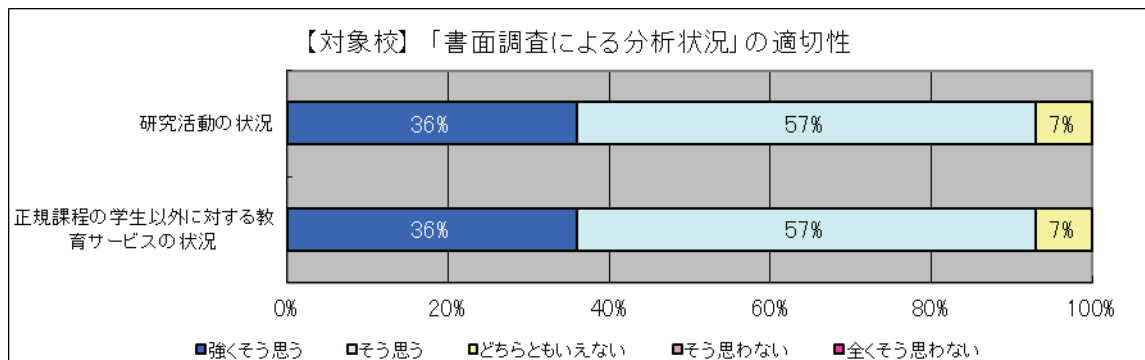


自己評価書の添付資料について、適切な根拠資料が添付されていると考えられる。

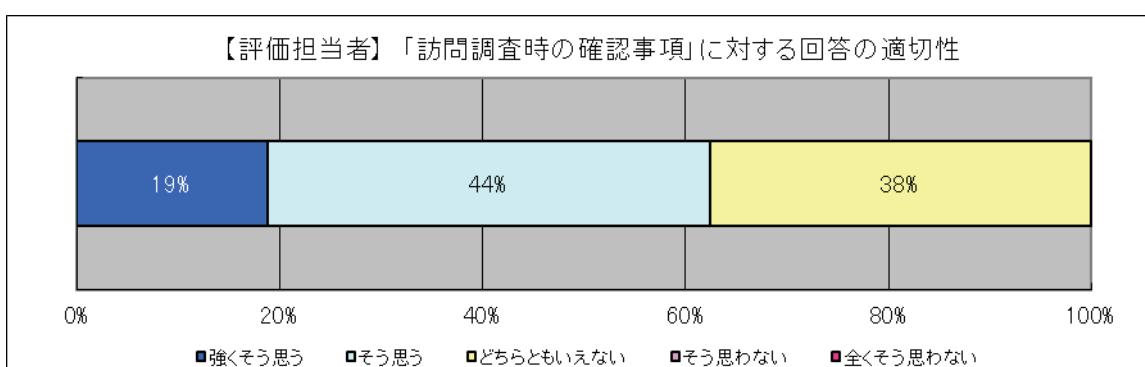
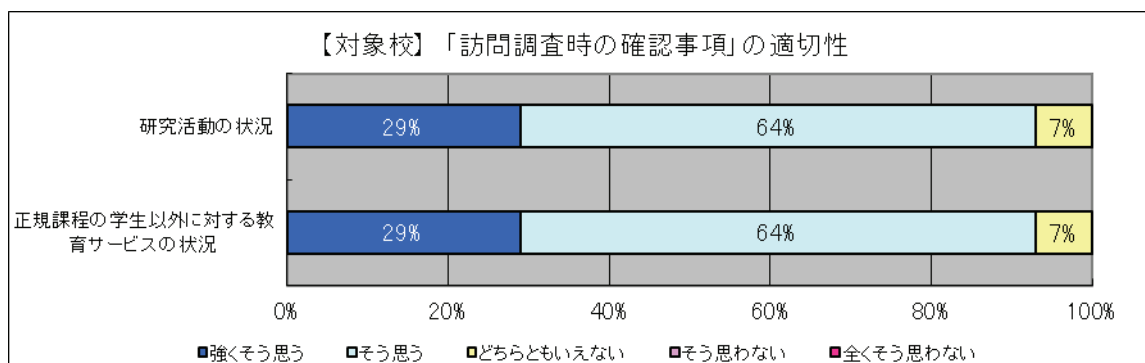


(4) 書面調査・訪問調査について

「書面調査による分析状況」の内容や書面調査票等の様式は適切であると考えられる。

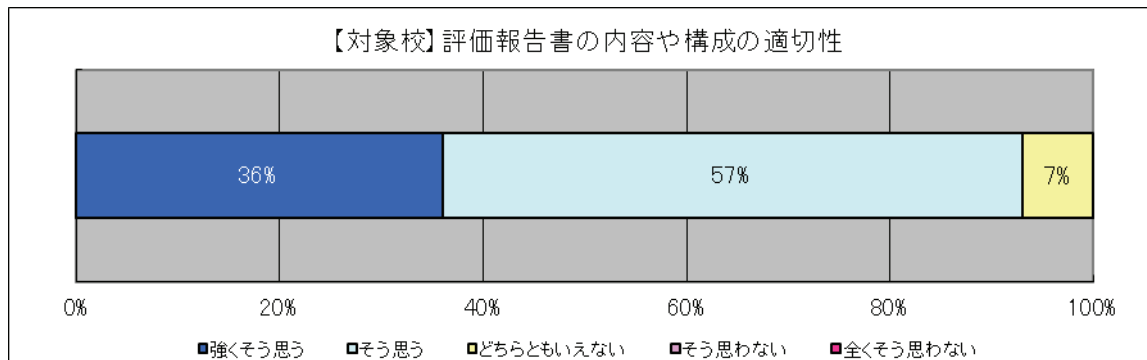


「訪問調査時の確認事項」の内容は適切であり、それに対する回答もおおむね適切であると考えられる。

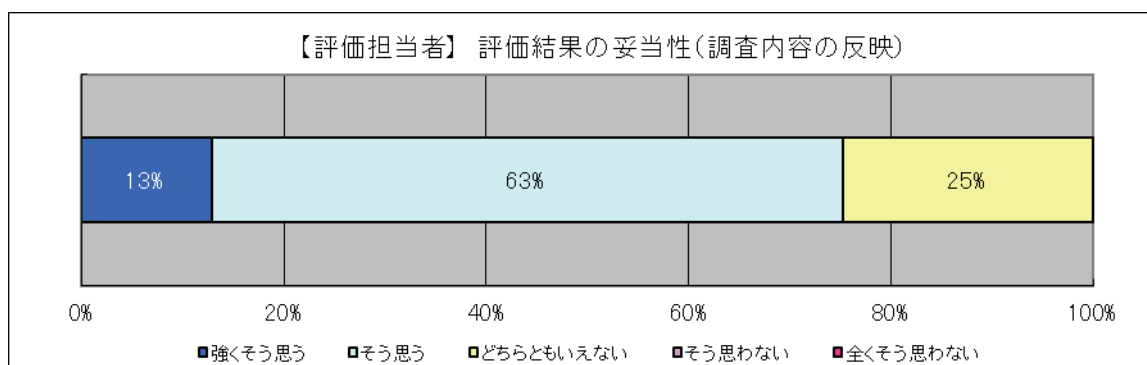


(5) 評価結果（評価報告書）について

評価報告書の内容や構成は適切であると考えられる。



評価結果の妥当性について、評価報告書の内容は評価担当者の意見が反映されており、おおむね適切であると考えられる。



（６）評価についての全般的な意見・感想について

（１）～（５）に挙げたもののほか、評価全般について、評価担当者から、主に次のような意見・感想があった。

・評価担当者からの意見・感想について

目標に対して自己評価するというスタイルにいまだに対応できていない対象校もあったという指摘があるものの、評価担当者として評価に参加したことについては、貴重な体験であったという感想が寄せられた。

参 考 資 料

参考資料 目次

1 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （選択式回答）【対象校】	15
2 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （選択式回答）【評価担当者】	16
3 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （自由記述）【対象校】	17
4 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果 （自由記述）【評価担当者】	19
5 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート 【対象校】（高等専門学校用）	20
6 選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート 【評価担当者】（高等専門学校用）	23

※ なお、アンケートの自由記述については、原則、原文をそのまま掲載した。（ただし、具体の高等専門学校や個人等が明らかに特定されるものについては、特定できないような表現に改めた上で掲載した。）

選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果(選択式回答)【対象校】

【高等専門学校】

① 今回受けた選択的評価事項		A	14								
		B	14								
【5: 強く思う～3: どちらとも言えない～1: 全くそう思わない】											
③ 認証評価基準とは別に選択的評価事項を設けたことは適切であった			5	4	3	2	1	計	平均	未回答	
			7	4	3	0	0	14	4.29	0	
			50%	29%	21%	0%	0%	100%			
④ 「研究活動の状況」や「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」を選択的評価事項のテーマとして設定したことは適切であった		A		6	7	1	0	0	14	4.36	0
				43%	50%	7%	0%	0%	100%		
		B		6	7	0	1	0	14	4.29	0
				43%	50%	0%	7%	0%	100%		
⑤ 選択的評価事項の評価で、対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという方法は適切であった		A		4	7	3	0	0	14	4.07	0
				29%	50%	21%	0%	0%	100%		
		B		4	7	3	0	0	14	4.07	0
				29%	50%	21%	0%	0%	100%		
⑥ 基本的な観点の構成や内容は適切であった		A		5	8	1	0	0	14	4.29	0
				36%	57%	7%	0%	0%	100%		
		B		5	8	1	0	0	14	4.29	0
				36%	57%	7%	0%	0%	100%		
【2: 迷った 1: 迷っていない】											
⑦ 自己評価書に添付する資料について、どのようなものを用意すべきか迷った			2	1	計	平均	未回答				
			3	11	14	1.21	0				
			21%	79%	100%						
【5: 強く思う～3: どちらとも言えない～1: 全くそう思わない】											
⑧ 「書面調査による分析状況」の内容は適切であった		A		5	4	3	2	1	計	平均	未回答
				5	8	1	0	0	14	4.29	0
		B		36%	57%	7%	0%	0%	100%		
				5	8	1	0	0	14	4.29	0
⑨ 訪問調査の前に提示された、「訪問調査時の確認事項」の内容は適切であった		A		36%	57%	7%	0%	0%	100%		
				4	9	1	0	0	14	4.21	0
		B		29%	64%	7%	0%	0%	100%		
				4	9	1	0	0	14	4.21	0
⑩ 総じて、機構による評価報告書の内容や構成は適切であった			29%	64%	7%	0%	0%	100%			
			5	8	1	0	0	14	4.29	0	
			36%	57%	7%	0%	0%	100%			
【2: している 1: していない】											
⑪ 今回の評価のために作成した自己評価書をウェブサイトなどで公表している			2	1	計	平均	未回答				
			7	7	14	1.50	0				
			50%	50%	100%						
⑫ 評価報告書をウェブサイトなどで公表している			10	4	14	1.71	0				
			71%	29%	100%						

選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果(選択式回答)【評価担当者】

【高等専門学校】

① 今回、評価を担当された選択的評価事項について	A	16							
	B	16							
【5:強く思う～3:どちらとも言えない～1:全くそう思わない】									
		5	4	3	2	1	計	平均	未回答
② 認証評価基準とは別に選択的評価事項を設けたことは適切であった		7	7	2	0	0	16	4.31	0
		44%	44%	13%	0%	0%	100%		
③ 「研究活動の状況」や「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」を選択的評価事項のテーマとして設定したことは適切であった	A	7	8	1	0	0	16	4.38	0
		44%	50%	6%	0%	0%	100%		
	B	6	8	2	0	0	16	4.25	0
		38%	50%	13%	0%	0%	100%		
④ 選択的評価事項の評価で、対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという方法は適切であった	A	4	10	2	0	0	16	4.13	0
		25%	63%	13%	0%	0%	100%		
	B	4	10	2	0	0	16	4.13	0
		25%	63%	13%	0%	0%	100%		
⑤ 基本的な観点の構成や内容は適切であった	A	3	12	1	0	0	16	4.13	0
		19%	75%	6%	0%	0%	100%		
	B	3	12	1	0	0	16	4.13	0
		19%	75%	6%	0%	0%	100%		
⑥ 対象校の自己評価書は理解しやすかった		3	6	4	3	0	16	3.56	0
		19%	38%	25%	19%	0%	100%		
⑦ 自己評価書には必要な根拠資料が引用・添付されていた	A	1	12	3	0	0	16	3.88	0
		6%	75%	19%	0%	0%	100%		
	B	1	12	3	0	0	16	3.88	0
		6%	75%	19%	0%	0%	100%		
⑧ 機構が示した書面調査票等の様式は記入しやすかった	A	1	14	1	0	0	16	4	0
		6%	88%	6%	0%	0%	100%		
	B	1	14	1	0	0	16	4	0
		6%	88%	6%	0%	0%	100%		
⑨ 書面調査を行うために、対象校の提出物以外の参考となる情報(客観的データ等)があればよかった	A	0	2	9	5	0	16	2.81	0
		0%	13%	56%	31%	0%	100%		
	B	0	2	9	5	0	16	2.81	0
		0%	13%	56%	31%	0%	100%		
⑩ 「訪問調査時の確認事項」に対する対象校の回答内容は適切であった		3	7	6	0	0	16	3.81	0
		19%	44%	38%	0%	0%	100%		
⑪ 自ら担当した書面調査、訪問調査の内容は、評価結果に十分反映された		2	10	4	0	0	16	3.88	0
		13%	63%	25%	0%	0%	100%		

選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果（自由記述）

【対象校】（高等専門学校）

② 選択的評価事項に係る評価を受けた理由について

- ・ 他高専の受審状況を見てもほとんどの高専が選択的評価事項に係る評価を受けており、当然のこととして受審した。
- ・ 本校では、研究活動や地域連携にも積極的に取り組んでおり、その内容が適切であるか評価していただき、今後の活動の改善に生かすため。
- ・ 国立高等専門学校機構として、研究活動の状況や正規以外の教育サービス状況についても評価を受けることを方針として出しているため。また、そのような優れた教育活動状況を適切に評価・公表し、世間に対して説明責任を果たすため。
- ・ 教育活動だけでなく、研究活動においても、自己評価する機会となるから。
- ・ 実際に両事項の内容を行っているから。
- ・ 本校の「研究活動の状況」及び「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」について、客観的な評価をしていただきたかったから。
- ・ 本校における教育研究活動等をより多面的に自己評価するとともに、客観的な第三者による評価を以て、現状の確認と更なる改善を図るため。
- ・ 本校では、A、Bとも非常に力を入れているので、ぜひ評価をしてもらいたいと考えたため。
- ・ 本校における研究活動及び地域貢献のこれまでの評価と、今後の改善に活かすため、選択的評価事項を選んだ。
- ・ 高専教育の充実には、教員の研究への取組が必要であることから選択的評価事項Aを、また、地域貢献への取組も重視していることから選択的評価事項Bを受審することとした。
- ・ 選択的評価事項A及びBに関して、本校が掲げている目的に沿った活動が行われていることに對して、評価を受審し、改善を図りたいと考えたから。
- ・ 本校は、実践的・創造的技術者の育成を目指した高等教育機関として、多くの優れた技術者を、地域社会や産業界に輩出してきており、地域に密着した存在として活動してきております。

今後、さらに地域や産業界の発展に貢献していくにあたり、教育研究活動のみならず、地域連携や産学官連携活動についても、より充実していくことが求められております。

本校は、現在の本校が行う諸活動の強みや弱みを確認し、今後の研究活動、地域連携及び産学官連携をさらに発展させるべく評価を受けることといたしました。

- ・ いずれも重要な項目だから。
- ・ 研究および地域活動（地域貢献）は、高等教育機関である高等専門学校の重要な役割の一つである。本校の教職員は、これらの活動とその評価を通して、新たな取り組みについても試行している。

⑦ 自己評価書に添付する資料で迷った点について

- ・ 認証評価基準の設問と同様に、個人情報（氏名、メールアドレス等）を目隠しするとほとんど黒

塗りのものとなり、裏付け資料として意味があるものか、悩むような場面があった。

- ・ 個人情報や著作権の取り扱い。
- ・ たくさんあるのでどれがもっとも適当か判断に困った。

選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート集計結果（自由記述）

【評価担当者】（高等専門学校）

⑥ 対象校の自己評価書の理解しにくかった点について

- ・ 自己評価書を書いた人が何を書くべきか理解してなかったようである。観点で問うていることと答えていることがちぐはぐであった。
- ・ 回答の形式や内容が指示に沿っていない箇所がありました。

○ 選択的評価事項に係る評価についての意見、感想等

- ・ 貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
今後も機会があれば評価に参加したいと考えております。
よろしくお願いいたします。
- ・ 目標を挙げて、その目標にたいして自己評価するというスタイルに、まだ対応できていない対象校がありました。毎年繰り返されるように思いますが、なんとかならないものでしょうか？

平成25年度実施選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート

選択的評価事項に係る評価を受けた対象校のみお答えください。

- ① 今回、受けた選択的評価事項について、該当するものに○をお付けください

・選択的評価事項 A 「研究活動の状況」	
・選択的評価事項 B 「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」	

- ② 選択的評価事項に係る評価を受けた理由をご記入ください

--

強く どちらとも 全くそう
 思う ← 言えない → 思わない
 (5) (3) (1)

- ③ 認証評価基準とは別に選択的評価事項を設けたことは適切であった -----

5	4	3	2	1	
---	---	---	---	---	--

- ④ 「研究活動の状況」や「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」
 を選択的評価事項のテーマとして設定したことは適切であった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

- ⑤ 選択的評価事項の評価で、対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという方法は適切であった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

- ⑥ 基本的な観点の構成や内容は適切であった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

→※⑥について、2又は1とご回答いただいた場合、どのような点が適切でなかったかをご記入ください。

--

	迷った	迷っていない	
⑦ 自己評価書に添付する資料について、どのようなものを用意すべきか迷った	2	1	

→※⑦について、2 とご回答いただいた場合、どのような点で迷ったのかをご記入ください。

--

⑧ 「書面調査による分析状況」の内容は適切であった -----	A	5	4	3	2	1	
	B	5	4	3	2	1	

→※⑧について、2 又は 1 とご回答いただいた場合、どのような点が適切でなかったかをご記入ください。

--

⑨ 訪問調査の前に提示された、「訪問調査時の確認事項」の内容は適切であった -----	A	5	4	3	2	1	
	B	5	4	3	2	1	

→※⑨について、2 又は 1 とご回答いただいた場合、どのような点が適切でなかったかをご記入ください。

--

⑩ 総じて、機構による評価報告書の内容や構成は適切であった -----	5	4	3	2	1	
-------------------------------------	---	---	---	---	---	--

⑪ 今回の評価のために作成した自己評価書をウェブサイト等で公表している -----

⑫ 評価報告書をウェブサイト等で公表している -----

している	していない	
2	1	
2	1	

・選択的評価事項に係る評価についてのご意見、ご感想があればご記入ください。（選択的評価事項に係る評価を受けて何らかの変更・改善を予定しているもの（または実施済みのもの）があれば、それをご記入ください。）

ご協力ありがとうございました。

平成25年度実施選択的評価事項に係る評価に関する検証のためのアンケート

選択的評価事項に係る評価を担当された方のみお答えください。

- ① 今回、評価を担当された選択的評価事項について、該当するものに○をお付けください

・選択的評価事項 A 「研究活動の状況」	
・選択的評価事項 B 「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」	

強く
そう思う ← 言えない → 全くそう
(5) (3) (1)
思わない

- ② 認証評価基準とは別に選択的評価事項を設けたことは適切であった -----

5	4	3	2	1	
---	---	---	---	---	--

- ③ 「研究活動の状況」や「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」
を選択的評価事項のテーマとして設定したことは適切であった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

- ④ 選択的評価事項の評価で、対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという
方法は適切であった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

- ⑤ 基本的な観点の構成や内容は適切であった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

→※⑤について、2又は1とご回答いただいた場合、どのような点が適切でなかったかをご記入ください。

--

- ⑥ 対象校の自己評価書は理解しやすかった -----

5	4	3	2	1	
---	---	---	---	---	--

→※⑥について、2又は1とご回答いただいた場合、どのような点が理解しにくかったかをご記入ください。

--

- ⑦ 自己評価書には必要な根拠資料が引用・添付されていた -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

→※⑦について、2又は1とご回答いただいた場合、どのような根拠資料が引用・添付されていなかったかをご記入ください。

--

- ⑧ 機構が示した書面調査票等の様式は記入しやすかった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

→※⑧について、2又は1とご回答いただいた場合、どのような点が記入しにくかったかをご記入ください。

--

- ⑨ 書面調査を行うために、対象校の提出物以外の参考となる情報（客観的データ等）があればよかった -----

A	5	4	3	2	1	
B	5	4	3	2	1	

→※⑨について、5又は4とご回答いただいた場合、どのような情報（客観的データ等）があればよかったかをご記入ください。

--

- ⑩ 「訪問調査時の確認事項」に対する対象校の回答内容は適切であった -----

5	4	3	2	1	
---	---	---	---	---	--

- ⑪ 自ら担当した書面調査、訪問調査の内容は、評価結果に十分反映された --

5	4	3	2	1	
---	---	---	---	---	--

- ・ 選択的評価事項に係る評価についてご意見、ご感想等をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

